

sonorium 共催シリーズ2011「映像と音楽」/ ニンフェール第7回公演
 ~笙とピアノ・映像の融合~

雅楽の笙のソコから始まり、最新のテクノロジーを駆使した3人の映像作家とのコラボレーションとしてIRCAM(フランス国立音響音楽研究所)に関わってきた伊藤美由紀、今堀拓也、ジョンサン・リーの3人の作曲家による笙とピアノのユニークな楽器編成の新作を、ピアノの朝川万里と笙の中村華子が、音響に定評のあるソノリウムのホールで世界初演致します。

Profile

朝川万里(ピアノ) Mari Asakawa, piano

ジュリアード音楽院に16才で入学し、ジョルジュ・シャンドール氏に師事。エール大学大学院を卒業後、イタリアのペスカーラ音楽院にて伝説的ピアニストミケラ・ンジェリの高弟であるブルーノ・メッツェーナ氏のもとで研鑽を積み、最優秀賞を得たのち、同音楽院を首席で卒業。フロレスター・ロツマンディ国際ピアノコンクール入賞。15才のときにニューヨーク・ウエストチェスターでグリーグの協奏曲を、続いてリンカーセンターにてパッハの協奏曲を演奏する。以降、米国・ヨーロッパ・日本で演奏活動を行っており、昨今は現代音楽の分野も意欲的に取りあげている。イタリア、日本、イギリスを含む計10カ所でのプロコフィエフピアノソナタリサイタルや、イタリア、フランス、スイス、日本にて「ピアノが奏でる20世紀の音」と題するリサイタルを開催。新曲の初演にも積極的に取り組む。プロコフィエフ没後50年を記念してイタリアPhoenix Classics社からリリースされたプロコフィエフピアノソナタ：「戦争ソナタ6、7、8番」のCDは、派手なピアノリズムと評されがちなプロコフィエフの3大ソナタを、「奥に秘められた作品の豊かさを浮き彫りにしていく成熟度の高い演奏」「近年はやりの怒り肩のプロコフィエフとは一線を画している」と高く評価されている。

東京生まれ。12才のときに家族と共にニューヨークに移り住んで以降、長い海外生活を経て、現在は拠点を東京に移す。愛知県立芸術大学非常勤講師。

中村華子(笙) Hanako Nakamura, sho

国立音楽大学音楽学学科卒業。在学中より雅楽を学ぶ。笙を宮田まゆみ、多忠輝、楽琵琶を中村かほる、雅楽合奏を芝祐靖に師事。平成18年度文化庁新進芸術家国内研修生修了。現在「伶楽舎」に所属し、古典雅楽はもとより、現代の作曲家による作品にも取り組み、国内外で幅広く演奏活動を行っている。「ミュージック・フロム・ジャパン」「ウルティマ音楽祭」「アジア音楽祭」「北杜国際音楽祭」「MITO音楽祭」「文化庁本物の舞台芸術」などに参加。



Matthew Kleinrock, photo

伊藤美由紀(作曲家) Miyuki Ito, composer

愛知県立芸術大学、マンハッタン音楽院修士課程、コロンビア大学博士課程修了。ピエール・シャルヴェ、トリスタン・ミュライヒ他に師事。文化庁芸術家在外研修員として、IRCAM(フランス国立音響音楽研究所)にて研鑽を積み、Boris & Edna Rapoport賞(NY)、名古屋文化振興賞、日本交響楽振興財団作曲賞入選、フランコ・エヴァンゲリスティ国際コンクール優勝(ローマ)など受賞。ハーモニアオペラカンパニー(NY)、東京オペラシティ、ミュージック・フロム・ジャパン(NY)、アタックシアター(ピッツバーグ)、オニックス・アンサンブル(メキシコ)などによる作品委嘱ほか、カーネギーホール、レゾナンス・フェスティバル(パリ)、ISCM世界音楽の日々(香港)、国際コンピューター音楽会議(マイアミ)、SMC(ギリシャ/スペイン)、Re:New(デンマーク、パレセロナ)をはじめ、世界各国の現代音楽祭で作品が演奏される。ゲラルド・オースタ助成とともにカリフォルニア・ジェラシ・アーティストレジデンス、国際交流基金助成とともにCMMAS(メキシコ国立音響研究所)にて創作活動を行う。「伊藤美由紀作品集時の砂」がALCD-80からリリース。ミラノのスウィーニ・セルポーニ出版社から楽譜出版。ニンフェールと、日米作曲家グループ：JUMP(日米：新しい音楽の展望)企画代表。現在、名古屋芸術大学、千葉商科大学非常勤講師。www.miyuki-ito.com



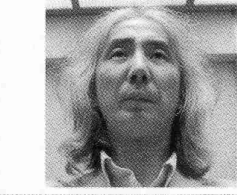
今堀拓也(作曲家) Takuya Imahori, composer

玉川大学文学部卒業、パリ・エコールノルマル音楽院作曲科高等ディプロム課程修了。IRCAM(フランス国立音響音楽研究所)2005年度作曲科研究員。日本大学芸術学部音楽学助教。作曲を平義久、ジャン＝リュック・エルヴェ、フィリップ・ルルー他に師事。ダラムシュタット夏季現代音楽講習会、サントリアカント夏季講習会、ロワイヨン現代音楽講習会「新しい声」に参加。2001年オランダのガウデアムス賞を受賞。ドナウエッシンゲン音楽祭、ラジオフランス・プレザンス音楽祭、横浜みなとみらいホール委嘱 Just composed, ベルリン・ブランデンブルク放送公開録音演奏会 Musik der Gegenwartをはじめ、バーゼル、シュトゥットガルト、ローマなどで作品が演奏されている。http://www.reverbNation.com/takuyaimahori



ジョンサン・リー(作曲家) Johnathan F. Lee, composer

デジタル・サウンド・アーティスト、作曲家。コロンビア大学で音楽の学士号、修士号、博士号を取得。玉川大学着任前は、ニューヨークのコロンビア大学とアデルファイ大学で教える。作品の様式は多岐にわたり、器楽曲に加えて、信号処理技術を用いた独自の多層的なデジタル信号処理を特色とする電子音楽およびコンピュータ音楽作品を制作する。最近、特に振付家や画家など他分野の芸術家との共同作業に関心があり、そうして制作された作品はアジア、南北アメリカ、ヨーロッパで上演されている。また、コロンビア大学やフランスのIRCAM(フランス国立音響研究所)では、音響やアート・テクノロジーの分野におけるソフトウェア開発など研究活動にも従事した。www.johnathanflee.com



榎川順(映像作家) Jun Kurumisawa, video artist

東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。コンピュータを用いて人間の持つ生理的な知覚を拡張する芸術手法を探っている。今までに触覚と絵画、音楽と絵画をテーマに作品発表を行う。ACM Siggraph、メディア芸術祭等に展示。現在、千葉商科大学政策情報学部教授。早稲田大学国際情報通信研究センター客員教授。美術解剖学会理事。ACM Siggraph会員。



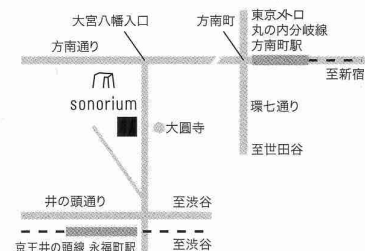
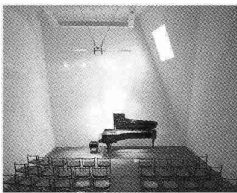
中西宣人(インタラクティブ・アーティスト) Yoshihito Nakanishi, interactive artist

日本大学芸術学部音楽学情報音楽コース在籍時より、音楽的なコミュニケーションをテーマに、インタラクティブ・アート作品の制作を行う。現在、東京大学大学院 学際情報学府 荒川忠一研究室に所属。日本大学芸術学部長賞(学業部門)、社団法人日本音響学会 第一回学生優秀発表賞受賞。



エレイン・トマツィ・フレイタス(メディア・アーティスト) Elaine Thomazi Freitas, media artist

音楽と作曲を原点に、テクノロジーの領域への歩みは、なだらかだが決定的であった。音楽におけるテクノロジーを一つの表現として捉え、芸術のコンセプトとして強いることをしていない。1997年にブラジル・リオデジャネイロ大学で修士を修得し、続いて2003年にはコロンビア大学にて博士課程を修得した。IRCAM(フランス国立音響音楽研究所) インターンシップの後、現在はロンドン・メトロポリタン大学の講師を務める。www.thomazi.com



sonorium (ソノリウム)

東京都杉並区和泉3-5-3-16

TEL 03-6768-3000

http://www.sonorium.jp

京王井の頭線 永福町駅下車(北口) 徒歩7分

東京メトロ丸の内線 丸の内線 永福町駅下車 徒歩10分

*お車でのご来場はご遠慮いただきますようお願い致します。